

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年7月29日(2010.7.29)

【公表番号】特表2003-500813(P2003-500813A)

【公表日】平成15年1月7日(2003.1.7)

【出願番号】特願2000-620277(P2000-620277)

【国際特許分類】

F 2 1 V	13/12	(2006.01)
F 2 1 V	5/02	(2006.01)
F 2 1 V	7/22	(2006.01)
F 2 1 Y	103/00	(2006.01)

【F I】

F 2 1 V	13/12	Z
F 2 1 V	5/02	A
F 2 1 V	7/22	A
F 2 1 V	7/22	Z
F 2 1 Y	103:00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年6月8日(2010.6.8)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0022

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0022】

マイクロプリズム構造17を有する光学要素14の構造は、公知の方法で観察者に対する光線の眩惑防止効果をもたらし、即ち、照明装置10からの光線15の出射角度の制限をもたらす。その点で、光学要素14を通ってランプ11から直接、光線が全く、或いは、事実上全く放出されないが、実質的に反射器12の内側で反射される光線のみが光学要素14に入り、次いで光学要素15から下方に出ていき、光学要素14の前面の一様、或いは、少なくとも事実上一様な照明が達成される。この効果は反射器の拡散反射性内側によって、更に、促進される。

図3に示される2本の長手ランプ11の代わりに、1つの環状ランプ11を反射器12の対応放出開口部13の外側に設けることも可能である。